

及川浩治

ピアノ・コレクション

KOJI OIKAWA PIANO COLLECTION

熱き心と魂で弾く、

シューベルト生涯最後のソナタ



2023年神戸女学院小ホール公演より

オール・シューベルト・プログラム
ALL SHUBERT PROGRAM
Franz Schubert

4つの即興曲 D899
4 Impromptus, D899

第1番 ハ短調 No.1 in C minor
第2番 変ホ長調 No.2 in E flat major
第3番 変ト長調 No.3 in G flat major
第4番 変イ長調 No.4 in A flat major

ピアノ・ソナタ 第21番 変ロ長調 D960

Piano Sonata No.21 in B flat major, D960

2026. **4/11** **土** 2:00PM開演 (1:30PM開場) 兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
A ¥4,000 B ¥3,000 (税込/全席指定) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)

一般発売

12/21

日

芸術文化センター
チケットオフィス

インターネット予約

※窓口での販売(残席がある場合)は12/23(火)より

☎ 0798-68-0255

(10:00AM - 5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

芸術文化センター会員
先行予約受付開始

12/20 **土**

※未就学児童はご入場いただけません。
※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる
場合があります。あらかじめご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

情熱のピアニスト、 シューベルト生涯最後のソナタに挑む

長きにわたりピアノとともに人生を歩んできた及川浩治。音楽に、作曲家に、真摯に向き合う姿勢が、作品をより一層輝かせてきました。精緻なその演奏は、聴衆の心を魅了してやみません。魂のピアニスト及川浩治が今回取り上げるのは、楽聖シューベルトの作品。充実した作品を遺した晩年に書かれた「4つの即興曲」は、自由な旋律が美しい秀逸な曲集。そしてピアノ・ソナタ第21番は「3つの大ソナタ」の最後を飾るソナタで、即興曲第1番の旋律から着想されました。シューベルト生涯最後のピアノ・ソナタとなる豊かな情感に溢れる至高の作品です。情熱のピアニスト及川浩治が挑む、オール・シューベルト・プログラム。どうぞご期待ください!

©Ayumu Gombi

及川浩治

4才からピアノを始める。1984年ヴィオッティ・ヴァルセイジア国際音楽コンクールで第1位受賞。1985年、国立音楽大学に入学。翌1986年にブルガリア国立ソフィア音楽院に留学。1987年にアレクシス・ワイセンベルクの公開セミナーに参加し、ワイセンベルク本人の意向により設けられた最優秀特別賞を受賞、練習用のグランドピアノを授与された。1990年にマルサラ国際音楽コンクールにおいて第1位受賞。また同年、第12回ショパン国際ピアノ・コンクールにおいて最優秀演奏賞(Honourable mention)を受賞。1992年、日本国際音楽コンクールにおいて第2位を受賞している。

1995年にサントリーホールにてデビュー・リサイタルを行い、同年ラムルー管弦楽団定期演奏会(佐渡裕指揮、サル・ブレイエル)に招かれバリ・デビューを飾る。1997年よりミュージック・シェアリング(旧みどり教育財団)による「レクチャー・コンサート」でヴァイオリニスト五嶋みどりと全国各地の小学校、養護学校などで演奏。1998年、札幌PMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)に出演。1999年のショパン没後150年には、「ショパンの旅」というタイトルのコンサート・ツアーを行ない3万5千人をも動員するショパン・イヤー最大規模のイベントとなった。2002年6月ワイマール州立歌劇場管弦楽団の日本ツアーソリスト、2003年7月にはPMFオーケストラのソリストとして、2004年には佐渡裕ヤング・ピープルズ・コンサートのゲストとして、全国各地で演奏。2005年サントリーホールで行なわれた「デビュー10周年記念コンサート」は満席となり大成功を収め、2008年～2011年には東京・大阪での同時プロジェクト「及川浩治10大協奏曲シリーズ」に取り組むなど人気・実力共に日本を代表するピアニストである。2015年2月にはテレビ朝日系列「題名のない音楽会」に出演し、ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第3番」の熱演がオンエアされた。

国内外オーケストラとの共演も数多く、2013年モスクワ・フィルハーモニー交響楽団、2014年ベルリン交響楽団、2015年ロシア国立交響楽団の各来日公演にてソリストとしてピアノ協奏曲を共演。2015年11月にはブルガリアにてソフィア・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会に出演した。

ダイナミックな中に繊細さをも併せ持ち、内面にダイレクトに訴えかける及川の演奏は多くの絶賛の声とともに幅広い層の共感を得ている。児玉邦夫・幸子、吉本美南子、コンスタンティン・ガネフ、ジュリア・ガネヴァ、ジャン＝マルク・ルイサダの各氏に師事。

CDはショパン、ベートーヴェン、リスト、ラフマニノフなどの作品集をリリースし、いずれも高い評価を受けており、「ベートーヴェン：悲愴・熱情、ワルトシュタイン」と『ショパン：バラード』は「レコード芸術」誌特選盤に選出されている。

現在、国立音楽大学客員教授、宮城学院女子大学音楽科特任教授。

及川浩治オフィシャルサイト <https://koji-oikawa.com>



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪・梅田からも神戸・三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

